

活動報告

グループ会社の取り組み

Commitments of Group Companies

日本化薬グループは、日本・ドイツ・アメリカ・台湾・チェコ・オランダ・中国・香港・韓国・メキシコ・マレーシアと11カ国にグループ会社があり、CSR経営をグループ全体で実践しています。

言葉や文化・生活習慣等が違っても、グループ共通のKAYAKU spiritをよりどころにしたそれぞれの地域社会に根差した企業活動を展開しています。



From China

交通事故ゼロに向けて KSHの取り組み

中国にある化薬(湖州)安全器材有限公司(KSH)は、2006年に設立した自動車安全部品を製造しているグループ会社です。

2014年に、KSHでは14件の交通事故が発生しました。車通勤者の人数が年々増加するにともない、交通事故も増える傾向になっていました。軽微な事故の増加は大きな事故発生につながります。

2014年12月2日、中国での“全国交通安全日”に、安全環境室が中心となり、新たなプログラム「交通安全宣言」を組み入れ、全社安全教育を実施しました。「交通安全宣言」とは、『7条の違法行為※をしない。安全に法規を守って運転する。』というスローガンです。

安全環境室からは、さらにKSHの交通事情に合わせて、『運転中の電話・喫煙をしない。急な右左折や進路変更をしない。前後

車両に注意する。適切な速度で走行する。早目にライトをつける。追越し時に注意する。』の6項目を追加しました。

この宣言を全員が守るよう、全従業員が教育を受け、宣言内容を読み合わせ、宣言ポスターにそれぞれ自分の名前をサインし誓いました。最後に、サインしたポスターを会社入口の目立つ位置に掲示し、従業員に毎日意識づけを行いました。

KSHでは、2015年度の全社安全方針・目標にも、交通安全宣言の不遵守がないように目標を設定するとともに、安全環境室が出勤退勤時のシートベルトとヘルメットの着用、スピードの出し過ぎがないかなどを毎月2回以上チェックしながら、違反行動を根絶しました。

結果として、KSHの交通事故は、2015年度はゼロとなりました。

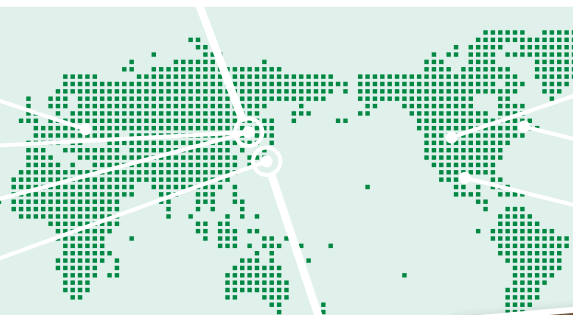
※7条の違法行為：スピード違反、過積載、飲酒運転、薬を服用しての運転、信号無視、緊急車道の通行、横断歩道を無視

ISS(チェコ)
ピンクリボン活動

WAC(中国)
新規廃水処理設備

KCW(中国)
健康診断講座

ポラテクノ(日本)
ラッピングトレイン運行



モクステック(アメリカ)
Homelessのサポート

マイクロケム(アメリカ)
Toys for Tots

KSM(メキシコ)
地域への教育サポート



From Japan

安全体験教育のさらなる充実へ 厚和産業の取り組み

厚和産業株式会社は、主に厚狭工場の製造業務を請け負っています。安全を最優先する方針のもと、安全の大切さを身体全体で感じてもらう機材を作成し安全体験教育を行っています。

2010年、チリのコピアポ鉱山で作業員33人が生き埋めとなり、69日後に奇跡的に全員が救出された落盤事故がありました。その作業員に生まれた子どもにつけられた名前が「Esperanza(エスペランサ・希望)」という報道があり、その言葉を機材に命名しました。

製造現場は常に危険と隣り合わせで作業しており、私たちはいつも、安全教育をはじめ、事故災害事例やヒヤリハットから学び安全に対する知識を高めています。そこで、エスペランサを用い、実際に危険を疑似体験し、事故の怖さと安全作業の重要性を再確認してもら

います。同時に、工具の正しい使い方や、器具・部品の名称のような基本的なことから、未然防止策や事故後対応などについても実習することを目的としています。

これらの安全体験機は手作りしました。また、安全体験室は遊休居室を改造し塗装を施し、使用していない作業台や備品等は塗装したりして、すべて手作りで再利用しました。

安全体験機で学習することは、危険を再認識でき、新人だけでなく熟練社員にも勉強になりました。現在では9種の安全体験機を揃え、他事業場でもこの機材が活用され、横展開を図っています。日本化薬グループの安全操業の一助となるよう、これからもさらなる充実を図り安全人の育成に努めていきます。